



### 令和五年度に向けて

#### 学校評価の結果から

校長 手代木 英明

「スポーツデイや学芸会などの行事で頑張った」と95%の子が回答しました。熱心に練習して成功した達成感が表れています。「学校が楽しい」は93%で、「友達との協力がよくなった」も91%ありました。

一方で「自分の考えを発表する」「友達に褒められた」、「丁寧な言葉遣い」「読書」、「早寝・早起き・朝ごはん」は3割程度と低かったため、次年度の授業改善と生活目標の課題として捉えました。

保護者・地域の皆様からは、「情報発信・ペーパーレス化」が高い評価でした。「児童の主体性を伸ばす教育」「個に応じた教育」「対話を重視した教育」、「安心・安全」「相談に対応する対応」などに肯定的な評価をいただきました。教育目標の「自ら高め合う子」に近づいてきています。

「家庭・地域との連携」も高い評価でした。今後も渋谷・神宮前の学校として、地域と連携を深めた教育活動を進めて参ります。

英語教育やシブヤ科、デジタルシティズンシップに対しては、6割程度と厳しい評価でした。これらの取組についての説明が不足していましたので、情報発信をしていきます。

「総合評価」の肯定的な回答は、86%でした。やや下がりましたが感染症予防対策を講じながら学校改革を進めてきたことを評価していただいたと捉えています。

自由記述欄にも、たくさんのお励ましとご意見をいただきました。これらの学校評価の結果を反映させながら令和五年度の教育課程も「子供ファースト」で計画していきます。ご協力ありがとうございました。

詳細は、「学校ホームページ」の「学校概要」↓「学校評価」をご覧ください。

### 令和三・四年度渋谷区教育委員会 研究指定校 研究発表会

一月二十五日（水）の研究発表会に都内から202名の参加者がありました。

子供たちが生き生きと学び、授業をする教員も輝く学校づくりを目指して校内研究を進めてきました。カリキュラム・マネジメントのキーワードを「つながる学び」とし、それにジャストフィットするICT活用とはどんなものなのかを提案しました。

子供たちがタブレットを道具として使い、主体的に取り組む姿を見ていただけたと思います。

本研究に対して、ご指導いただいた明治大学 准教授 岸 磨貴子先生をはじめ各学年講師の先生方ご支援いただいた渋谷区教育委員会に感謝いたします。



5年



6年

### 一月の生活指導 寒さに負けず！過冬！

2023年が始まって1か月が過ぎました。早いもので今年度も残り2か月です。この2か月の間に、新しい学年になるための準備をしっかりと行い、積み残しのないようにして今の学年を締めくくりたいものです。

さて、今月の生活目標は、「寒さに負けず！過冬！」です。今年も厳しい寒さが続いています。寒さが厳しくなると、外遊びより室内で過ごしたくなります。神宮前小学校では、寒さに負けない体力づくりの一貫として、定期的なマラソンや長縄の時間を設けています。

体を動かすことは、心身ともに健康な生活を送ったり、免疫力を高めたりするために大切なことです。寒暖の差が大きいと自律神経（内臓や血管などをコントロールする神経）が乱れやすく、体調を崩しやすくなると言われていきます。もともと冬場は抵抗力が落ちやすいため、健康管理が難しい季節です。楽しい学校生活を送るためにも、体を動かす、規則正しい生活を心がける、バランスの良い食事で十分な栄養を取る、睡眠をしっかりとって疲れをためないようにするなど、健康管理を意識して、元気に過冬してほしいと思います。ご家庭での協力、声掛けもお願いします。

(生活指導部)